

平成20年度 区民利用施設の管理運営に係る事業計画書

施設名：横浜市中本牧コミュニティハウス
指定管理者：中区区民利用施設協会
館長名：輿水 文博

1 施設の管理運営に対する基本的考え方

横浜市地区センター条例、中区区政運営方針に基づき地域住民の中核施設として各種の自主活動と区民相互の交流の場づくりという目的を達成できるよう管理運営を行います。

そのため、ア「利用者の満足度の向上」

イ「地域活動の拠点としての活性化」

ウ「合理的運営」

などの経営方針のもとに「費用対効果」

「コスト管理」など様々な角度や視点から創意工夫を効果的に引き出し、その実現を図り公益的使命を達成します。また、具体的行動指針として「館長憲章」を定め「笑顔・親切・安全」を基本として職員は地域と利用者のためにあるということを基本にあらゆる可能性を追求し達成します。

2 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること

(1) 地域との連携に関する計画について

この地域は、マイカル本牧に近い密集した住宅と小規模のマンションの混在する商店街及びバス便の存する都市計画道路(通称本牧通り)により南北に分断された平坦な住宅地で幼稚園、小学校が複数存在しています。それらの特徴を踏まえ、さらにこの施設が従来の青少年図書館の機能と地域コミュニティの中核としての機能を併せもち南側の約700㎡の敷地が「こどもの遊び場」として開放されている状況を勘案し区の重点施策でもある「こどもが健やかに育つ環境づくり」「地域の活性化及び安全安心できる環境づくり」など様々な自主事業を行いながら重点的に進め、子どもから年寄りまでが交流する「中本牧なかよし文化祭」や「中本牧出前寄席」などを例年通り開催すると共に、新たに開港150周年記念制作として「横浜みなとタイル壁画」造りを開催し、地域連帯を図ります。

(2) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の方法

利用者や地域との良好なコミュニケーションの形成、お便りボックスの設置、自主事業実施後のアンケート調査、区や施設の広報、他施設との情報交換、地域連絡会、利用者会議などを通して利用者や地域ニーズを様々な角度から把握するよう努めています。このようにして得られたニーズは区の重点対策などに十分配慮しながら、優先順位及び実施時期を明確にし、自主事業、施設整備等のソフト面・ハード面に反映させます。

3 施設でのサービスの提供に対する考え方

(1) 20年度におけるサービスの提供に関する基本的な考え方

会議室、多目的室、交流室、学習室それぞれの使用目的に沿って気楽に満足して使えるように利用者の目線に立った満足度の高いサービスを提供してまいります。

また、HPを開設し、積極的なPR活動をすることにより、潜在的な利用者にアピールします。その他、地元町内会や行政あるいは様々なサークル活動の拠点としての場の提供を目指し、それにふさわしい快適な空間・環境づくりのために、接遇のサービス向上を課題に、利用者の声を聞きながら努力を続けています。当協会では「すべての施設は利用者と地域のために」を館長憲章と定めモットーである「笑顔・親切・安全」をサービス提供の原点として、全職員に徹底しております。

(2) 会議室等の利用に関する取扱いについて

会議室・多目的室の利用については、団体利用を原則としています。

ただし、当日部屋の利用がない場合で希望がある場合は、延長貸し出しを行い稼働率アップを図っています。また、公共・公益団体の利用を優先していますが、いずれの場合も利用後の清掃など自主管理をお願いしています。

(3) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

当施設が「地域活動団体の拠点としての場の提供」をその設立目的としていることを区の広報を通じてPRしております。また、部屋の貸し出しを通じてサークル活動の場のきっかけづくりを図り、団体からの相談に適切に対応・助言し必要に応じて個人情報の保護に配慮しながら登録団体の紹介も行なっております。

(4) その他のサービス実施に関する計画について

「こどもの遊び場」の砂場を猫の糞公害から防止するため、午後5時から午前9時までシートを掛けて保護しています。また、シーソーの防音と地面が穿(ほじ)られないようタイヤを埋め込み改良しました。ブランコは朝、整地して気持ちよく使用できる状態にしています。また、春には、花壇にボランティアの協力で花を植え良好な環境づくりをします。中学生対策として学校や警察・地域との連携を密にし、青少年の健全育成、安心して利用できる館づくりを図ります。

4 施設の経営に関する考え方

(1) 施設の効率的な管理運営のための計画について

(1) 当協会では、指定期間中この施設の運営にあたり、最小の経費で最大の効果を希求してこれを徹底します。それは、単に事務費・管理費などの経費の節減のみを意味するものではなく、自主事業でいえば、事業計画策定の段階での地域ニーズの的確な把握、投資効果の綿密な事前調査、事後の実施効果測定などその事業が施設本来の設置目的に適合しているかどうかを様々な視点から検証し、これに最も適った事業を実施するなど、合理的・経済的な管理・運営でなければならないことを意味しています。当協会は、このような経営方針の下に「**効率管理検討部会**」を設置し、その実効性を検証するなど、利用者の満足度の向上とあわせて、全力を尽くしてまいります。

(2)

ア) 経費節減に向けて**年度ごとに目標値**を定め、サービスの低下とならないよう配慮しながら、事務費・管理費の見直しを図ります。

イ) 魅力ある事業を企画し、参加者からある程度の費用負担を求め、事業経費の節減に努めます。

ウ) 他施設との共催を積極的に行ない、経費節減等スケールメリットを活用します。

エ) 多様な自主事業を実施し、施設のPR及びサークル化を図り、部屋の稼働率のアップに努めます。

オ) 施設利用の一層の促進を図るため、図書館機能の整備・学習室の防音化・障害者に優しい設備の充実・くつろぎや交流の場の改善などに努めます。

カ) 区の窓口業務の取次ぎなど、区民の利便に配慮した施設を目指します。

(2) 利用料金の設定について

5 施設の運営に関する職員体制・情報保持等の考え方

(1) 職員の配置及び採用について

当協会では、館長1名及びこれを補佐する主任2名を配置し、また、窓口業務を担当するコミュニティスタッフ6名と作業スタッフ2名を、地域との一体性及び業務の普遍性に配慮し適正な採用基準の下に、意欲あるスタッフを区民から公募します。スタッフの配置については、半月毎の交代勤務及び午前・午後・夜間の区分（作業スタッフを除く）毎に1名の勤務体制をとっています。なお、館長と主任は常勤とし、日・祝祭日・日勤・夜勤などの区分毎にそれぞれ1名を配置し、スタッフとローテーションを組んで勤務する体制をとっています。

(2) 職員の研修計画について

当協会では、利用者の施設に対する好感度の第一は接遇にあることを念頭におき、当協会で行なう接遇及び人権研修には館長以下全職員が参加し、その趣旨を徹底しています。施設においても、実例を参考に、館長がそのつど事例に即した研修を実施し、苦情等の事後処理・相手方の言い分等を伝えながら、より効果的な研修としています。施設での定期的研修は、年1回の上記の全体研修のほか、四半期ごとに1回の**図書業務を含む業務研修**を実施しています。このほか、日常の事務引継ぎの際ミーティングで、これらを再確認しています。当協会はこれらの機会を通じて自己研鑽のきっかけづくりを図り、人権感覚に優れた意欲のある人材の育成に努めています。

(3) 個人情報の保護の措置について

当協会では、個人情報保護に関する法令・条例等の趣旨を周知するために全職員を対象に必要な研修を行うほか、施設においても実例を参考に館長が業務研修の一環としてこれらに関する研修を実施し、その実効性を図っています。当協会では、別に「中区区民利用施設協会個人情報保護方針」を定め、その遵守を全職員に徹底し、又、この方針を施設で掲載することにより、利用者に対しても個人情報が適切にかんりされていることを周知しています。

6 緊急時対策について

(1) 防犯、防災の対応について

当協会では、この施設内外での犯罪や非行防止のため、スタッフが随時巡回するほか、利用者や近隣の住民と常時情報交換を行なっています。また、警備会社と業務委託契約し、夜間・休館日の防犯対策を講ずるほか、山手警察署に随時のパトロールを依頼しています。防災については、災害時、直ちに閉館し所定の消防計画に基づき自衛消防隊を立ち上げるなど、必要な処置を取れる体制となっています。又、所轄の中消防署の指導により、年2回、所定の防災訓練を実施しています。なお、当協会では「事故・事件の発生時における危機管理のあり方について」を定め、利用者の避難誘導・通報等の緊急連絡網の整備・緊急動員体制・他施設との連携及び応援体制等について、マニュアル等によりこれを所管の各施設に対し周知徹底しています。このほか、町内会等地域との協働で危機管理対応訓練の実施を検討しています。

(2) その他、緊急時の対応について

非常時の施設利用に対応するため、入り口の鍵及びカードを当協会及び区の所管課で、保管することとしています。施設や「子どもの遊び場」で利用者の急患が出た場合は、横浜市救急医療情報センターから適切な病院の情報を得て介助者に知らせるほか、必要に応じて、救急車の依頼も遅滞なく行なっています。また、非常時の特別避難場所として、区との連携の下に地域へ開放する方針としています。

7 その他

併設されているゴミの「資源ボックス」の整理整頓、関係先への連絡や周辺道路に放置されている自転車などの関係機関への撤去連絡などにつとめ、地域と一体となった環境づくりに努めます。

平成20年度 自主事業計画書

< 新規事業 >

施設名：中本牧コミュニティハウス

| 募集対象 | 事業名 (教室名) | 開催日 | 回数 | 参加人員 | | 自主事業経費 | | | 1人当たり 参加費 | | 講師謝金 | | 共催先 ねらい・新規理由 PR方法 |
|------------|---------------------------------|------------|----|---------------|---------------------|------------------|------------------|----------|--------------|-----------|-------------------|-----------------------|---|
| | | | | 募集 人数 人 | 延べ 参加 人数 人 | 委託料 支出総額 円 | 参加者 負担総額 円 | 総経費 円 | 徴収 | 参加費用 円 | 1回1講師 当たり 円 | 1教室 講師謝金 額 円 | |
| 未就園児 親子 | 親子で楽しくリトミック～こどもとり ズムであそぼ～ | 4月～7月 | 4 | 30 | 120 | 13,000 | 15,000 | 28,000 | 有 | 1,000 | 7,000 | 28,000 | 地域のニーズ |
| 小学生 | 小学生の将棋入門教室～将棋を おぼえよう～ | 4月～6月 | 4 | 20 | 80 | 2,000 | 0 | 2,000 | 有 | 100 | 0 | 0 | 囲碁教室を3年間行っ たので、地域のニー ズ。参加費は教材費に 充当 |
| 小学生 | 小学生の将棋で対戦 | 7月～3月 | 8 | 14 | 112 | 2,000 | 0 | 2,000 | 無 | 0 | 250 | 2,000 | 将棋教室を開催後毎月 1回開催 |
| どなたで も | 母の日プレゼント大作戦～リボン レISTRAップづくり～ | 5月 | 1 | 20 | 20 | 11,000 | 6,000 | 17,000 | 有 | 300 | 7,000 | 7,000 | 材料費を補助 |
| 一般 | 自きょう術の体験教室 | 6月～7月 | 5 | 10 | 50 | 10,000 | 15,000 | 25,000 | 有 | 1,500 | 5,000 | 25,000 | 参加費は講師謝金 |
| どなたで も | 開港150周年記念制作～よこは まみなとタイル壁画～ | 7月～10 月 | 8 | 10 | 80 | 100,000 | 5,000 | 105,000 | 有 | 500 | 10,000 | 80,000 | 開港150周年記念事業 |
| 一般 | ハワイアンキルト制作 | 7月 | 2 | 10 | 20 | 12,000 | 20,000 | 32,000 | 有 | 2,000 | 7,000 | 14,000 | |
| 小学生親 子 | 親子でハーブのボディパウダーづ くり | 7月 | 1 | 20 | 20 | 7,000 | 5,000 | 12,000 | 有 | 250 | 7,000 | 7,000 | |
| 一般 | 季節の便りをパソコンでつくりま しょう 午前・午後コース | 6月 | 8 | 8 | 64 | 16,000 | 64,000 | 80,000 | 有 | 4,000 | 10,000 | 80,000 | パソコンのニーズの変 化に対応 |

| | | | | 人 | 人 | 円 | 円 | 円 | | 円 | 円 | 円 | |
|--------|------------------------------|--------|----|----|-----|--------|---------|---------|---|-------|-------|--------|----------------------------------|
| 一般 | アコーディオンで楽しくたいましょう | 4月～3月 | 9 | 40 | 360 | 32,000 | 40,000 | 72,000 | 有 | 1,000 | 8,000 | 72,000 | 参加者が非常に多い |
| 小学生 | 小学生の絵画造形教室 | 4月～3月 | 12 | 20 | 240 | 84,000 | 120,000 | 204,000 | 有 | 500 | 7,000 | 84,000 | 地域のニーズが大きい |
| 一般 | 健康づくり教室 | 4月～3月 | 24 | 30 | 720 | 0 | 0 | 0 | 無 | 0 | 0 | 0 | 「第4地区南部健康づくり教室運営委員会」共催 |
| 未就園児親子 | わいわいパネルシアター・たまたばことあそび | 4月～3月 | 12 | 40 | 480 | 60,000 | 0 | 60,000 | 無 | 0 | 5,000 | 60,000 | 幼児の人気講座 |
| こども | みんなあつまれ！おはなし会 | 4月～3月 | 11 | 20 | 220 | 55,000 | 0 | 55,000 | 無 | 0 | 5,000 | 55,000 | 情操教育の介助 |
| こども | わくわく理科・社会教室 | 5月～3月 | 3 | 30 | 90 | 10,000 | 0 | 10,000 | 無 | 0 | 5,000 | 10,000 | 企業退職者による講師。大鳥中CH 仲尾台中CH 本牧中CH 共催 |
| 一般 | 日用ペン&ボールペン習字～ひとりひとりの必要に合わせて～ | 7月～10月 | 8 | 8 | 64 | 0 | 32,000 | 32,000 | 有 | 4,000 | 4,000 | 32,000 | |
| 指定無 | たなばた飾り | 7月 | 5 | 30 | 150 | 5,000 | 0 | 5,000 | 無 | 0 | 3,000 | 6,000 | 地域の世話人より竿の寄付。 |
| 指定無 | おおとり座によっといで | 8月 | 1 | 40 | 40 | 6,000 | 0 | 6,000 | 無 | 0 | 7,000 | 6,000 | |
| 小学生 | コミュニティスタッフちょこっと体験教室 | 8月 | 2 | 3 | 6 | 0 | 0 | 0 | 無 | 0 | 0 | 0 | |
| 指定無 | おもちゃの病院 | 8月 | 2 | 10 | 20 | 3,000 | 0 | 3,000 | 無 | 0 | 3,000 | 3,000 | 中区おもちゃのドクターネットワーク共催 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------------|-----|---|-------|-------|---------|---------|---------|---|-----|---|---------|-----------------------------------|
| こども | 本牧ハロウィン | 10月 | 1 | 200 | 200 | 10,000 | 0 | 10,000 | 無 | 0 | 0 | 0 | 地域の特性を活かす |
| 指定無 | 第4回中本牧なかよし文化祭 | 11月 | 1 | 1,000 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 無 | 0 | 0 | 0 | 本牧2丁目北部町内会共催。サークル活動の発表。当館の地域へのPR. |
| 指定無 | 4館共催事業「ハンドベル演奏会」 | 12月 | 1 | 20 | 20 | 0 | 10,000 | 10,000 | 有 | 500 | 0 | 0 | 本牧中CH・大鳥中CH・本牧CS・竹之丸CS共催 |
| 指定無 | 第5回中本牧出前寄席 | 1月 | 1 | 60 | 60 | 0 | 0 | 0 | 無 | 0 | 0 | 0 | 第4地区北部・南部健康づくり運営委員会共催 |
| | | | | | 0 | | | 0 | | | | | |
| 合計 | | | | 1,551 | 3,670 | 265,000 | 202,000 | 467,000 | - | - | - | 328,000 | |

共催先・ねらい・新規理由は具体的にご記入ください。

*PRは中区版広報誌・ナカログ・ポスター・チラシ・ホームページで呼びかけます。

平成20年3月3日

平成20年度 横浜市中本牧コミュニティハウス 収支予算書

収入の部

| 項目 | 金額(円) | 備考 |
|---------|------------|-----------|
| 指定管理料 | 24,285,000 | 収入内訳1のとおり |
| その他事業収入 | 100,000 | 自動販売機収入等 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 小計(A) | 24,385,000 | |

支出の部

| 項目 | 金額(円) | 備考 |
|-------|------------|-----------|
| 人件費 | 16,913,000 | 支出内訳1のとおり |
| 事務費 | 1,176,000 | 支出内訳2のとおり |
| 事業費 | 500,000 | 支出内訳3のとおり |
| 管理費 | 4,130,000 | 支出内訳4のとおり |
| 事務経費 | 840,000 | |
| 公租公課 | 826,000 | 消費税相当分 |
| | | |
| | | |
| 小計(B) | 24,385,000 | |

差し引き

| | | |
|-----------|---|--|
| (A) - (B) | 0 | |
|-----------|---|--|

収入内訳1 指定管理料内訳

| 項目 | 金額(円) |
|-------------|------------|
| 人件費 | 16,913,000 |
| 事務費 | 1,176,000 |
| 事業費 | 500,000 |
| 管理費 | 4,130,000 |
| 事務経費 | 840,000 |
| 公租公課 | 826,000 |
| その他収入(自販機等) | -100,000 |
| | |
| 計 | 24,285,000 |

支出内訳1 人件費

| 項目 | 金額(円) | 備考 |
|--------------|------------|--|
| 職員給与(館長) | 3,591,000 | @219,000 × 16.4月 |
| 職員給与(指導員) | 6,520,000 | @198,790 × 16.4月 × 2名 |
| 職員社会保険料等 | 1,383,000 | 健康保険料、健康診断、厚生年金、児童手当拠出金、雇用保険料、労災保険料 |
| 通勤費 | 359,000 | (館長)@11,950 × 12月 (指導員)@26,930 × 年4回 × 2名 |
| スタッフ賃金(通常) | 4,377,000 | (午前)@840 × 4時間 × 347日 × 1名 (午後)@840 × 4時間 × 347日 × 1名 (夜間)@890 × 4時間 × 285日 × 1名 (作業担当)@990 × 3時間 × 347日 × 1名 |
| スタッフ賃金(休暇対応) | 486,000 | (午前)@840 × 4時間 × 8日 × 4名 (午後)@840 × 4時間 × 7日 × 2名 (夜間)@890 × 4時間 × 5日 × 2名 (繁忙期予備・その他) 296,000 |
| スタッフ社会保険料等 | 89,000 | 健康診断(@8,200)、労災保険料 |
| スタッフ交通費 | 108,000 | @26,930 × 年4回 × 5名 |
| 計 | 16,913,000 | |

支出内訳2 事務費

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|-------------|
| 旅費 | 19,000 | |
| 消耗品費 | 340,000 | |
| 会議賄費 | 5,000 | |
| 印刷製本費 | 5,000 | |
| 通信費 | 280,000 | |
| 使用料及び賃借料 | 47,000 | |
| 備品購入費 | 92,000 | |
| 図書購入費 | 180,000 | |
| 地域協力費 | 20,000 | |
| 施設賠償責任保険 | 88,000 | |
| 廃棄物処理費 | 90,000 | ルート回収に伴う処分費 |
| 手数料 | 10,000 | |
| 計 | 1,176,000 | |

支出内訳3 事業費

| 項目 | 金額 | 備考 |
|-------|---------|----|
| 自主事業費 | 500,000 | |
| 計 | 500,000 | |

支出内訳4 管理費

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|----|
| 光熱水費 | 1,800,000 | |
| 清掃費 | 420,000 | |
| 修繕費 | 700,000 | |
| 機械警備費 | 510,000 | |
| 冷暖房設備保守 | 150,000 | |
| 消防設備保守 | 50,000 | |
| 電気設備保守 | 300,000 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 50,000 | |
| その他保全費 | 150,000 | |
| 計 | 4,130,000 | |